

TPDS NEWS



※ TPDS = Tokyo Plastic Dental Society = (一社) 東京形成歯科研究会

Vol.34

配信日：2022年1月13日

配信元：(一社) 東京形成歯科研究会 事務局

医療タイムス 記事紹介

“バイリンガルなネコとモノリンガルな日本人”

相談役・理事 北村 豊 先生

当会の相談役・理事 北村豊先生からご提供いただいた記事をご紹介します。

記事の内容につきましては、別紙^{*}(Emailの場合:別添)(Faxの場合:本状含め2枚目)の通りでございます。

^{*} 別紙 出展元: 医療タイムス 2022年(令和4年)1月1日(土曜日) 発行

事務局より

会員の先生方から情報提供いただければ、その都度、施設長に相談して、「TPDS NEWS」にて配信させていただきます(施設長より)。従来は、歯科・医科に関する内容を配信しておりましたが、北村先生のご指導もあり、「TPDS NEWS」を会員・関係各位の交流の場(ツール)として活用していただくことを目的に、配信する内容(企画)の幅を拡大することと致しました。お気軽に「TPDS NEWS」の材料(ネタ)を事務局まで(下記)ご提供いただけると幸いです。ご検討の程、何卒宜しく願い申し上げます。※反社会的内容等の場合は、配信を断念する場合もございます。予めご了承願います。

〒114-0002 東京都北区王子 2-26-2 ウェルネスオクデラビルズ 3F

一般社団法人東京形成歯科研究会 事務局

Email: okudera@carrot.ocn.ne.jp

TEL:03-3919-5111/FAX:03-3919-5114

バイリンガルなネコと モノリンガルな日本人

北村 豊

幸か不幸か、この世にヒトとして生を享けた私は冬眠はしないので、皮下脂肪を落としたい

座り込んで読書モードに入り込んでしまふことが度々ある。

スリム化もしたいが、前期高齢者のレツテルがあと2年で自動的に貼りかえられる私にとつては、書齋に大事に保管している多数の書籍などを早く断捨離したい気持ちも強く、そこにこもって整理を始めてはいるが、

先日、有名な生物学者で現在、青山学院大学教授の福岡伸一さんが2008年に出版された「できそこないの男たち」という生命科学の新書を取捨選択のためのつまみ読みをしていて、この著者が国際学会で教えてもらったという興味ある小

話に惹かれてしまった。その話とは：

ある日、ネズミが路地を警戒しながら歩いているとネコに遭遇した。ネズミの姿を捉えたネコはいきなり猛ダツッシュしてきたが、俊敏なネズミは知り尽くした細い通路を縦横無尽に走って、ネコを振り切ろうとしたが、ネズミはとっさの機転を利かせて小さな穴に飛び込んだ。

「あつ、あれはイヌのジョン君の声だ。助かった！」と思い、お札を言うために外に出たネズミはネコの鋭い爪で押さえつけられたのです。

この小話の結語は、私が参加しているいくつかの学会にもあてはまり、日本口腔外科学会でもかなり以前からイングリッシュセッションが設けてあつて、その会場での発表、質疑応答は全て英語で実施するルールとなつており、通訳やイヤホンの貸与は既に過去のやり方となつてしまつて

たわけではないが、交換留学生らとのつたない会話を経験してコミユニケーションの喜びを知つたのである。

それをきっかけに4カ国語を話せるようになった私の人生はとも豊かになつたことは事実である。

日本人にも、ポリグロットとまでは言われないが、バイリンガルなネコ“には是非なつていただき、より実りある人生を過ごしていただきたいと願つている。

（上高井郡小布施町信州口腔外科インプラントセンター所長）

その穴の奥で籠城することにより「お腹を空かせたネコは諦めてどこかに行くだろう」。しばらく経って外から聞こえる「ワン、ワン

2カ国語くらいはしゃべれないと世の中やっではないのさ」

この小話に深くうなずいた私であつたが、窮鼠猫を噛んだかどうかは知らない…。